



＼オススメ／ 福島県と地名つながりで福島町！

最初の一歩

北海道と本州をわずかに陸路でつなぐ「青函トンネル」。トンネルの地上の入口は青森県今別町、出口は知内町にありますが、トンネルが最初に北海道に到達する地点は福島町です。1963年2月11日、福島町吉岡で工事の着工式が行われ、長きにわたる工事の最初の一歩が踏み出されました。1998年にトンネルは開通し、当時の貴重な記録や土木技術は町立の博物館「青函トンネル記念館」に保管され、館内では体験坑道や実際に使ったボーリングマシンなどが見学できます(写真右)。そして、江戸時代に日本初の本格的な実測地図を作った伊能忠敬が、蝦夷地に最初の一歩を踏み出したのも同じ福島町吉岡です。(写真左下)

写真提供 一般社団法人 福島町まちづくり工房



写真提供 福島町



「伊能忠敬北海道測量開始記念公園」内
伊能忠敬像／写真提供 福島町

地名の由来

明治以降の開拓移住により、入植者の出身地が地名に残る北海道。福島町という地名から、福島県にゆかりがあるのかな、と考えがちですが、そうではありません。福島町には、奥州合戦(1189年、源頼朝による奥州藤原氏の討伐)に敗れた奥州藤原氏の残党や津軽の人たちが海を渡り定着した、という歴史があり、古くから和人が暮らしてきました。元々の地名は、アイヌ語に由来したオリカナイ(折加内)でしたが、1624年に月崎神社の御神託(神のお告げ)によって「福島」に改名されたと伝えられています。そして、この「福島」という名の由来は、おとなりの松前にある地名「福山」に対して「福島」としたという説と、対岸の青森県にある「福島」という地名にあやかった、という説があります。

自然豊かな福島町

福島町はその面積の大部分が山林で、広大な大千軒岳や道南の知床とも呼ばれる「岩部海岸」など、美しい景観に出会える自然豊かな町です。「青の洞窟」といえば本家、イタリア・カプリ島のほか国内各地の神秘的な海の洞窟の呼び名として知られていますが、ここ、福島町の岩部海岸にも船でなければたどり着けない秘境「青の洞窟」(写真最上)があります。自然がうみだした数々の奇石、透きとおった海、そして、「青の洞窟」を満喫できるボートツアー「岩部クルーズ」(写真右)は、今「北海道で最も予約が取りにくいクルーズ」とも言われ、観光スポットとして人気があります。これから迎える夏秋の思い出に、行ってみたい!と思った方は、早めの予約がよさそうです。



写真提供 一般社団法人 福島町まちづくり工房



福島町のくわしい情報は
こちらから！

福島町役場

福島町の歴史がわかる「福島町史」は、トップ>福島町>教育>福島町の文化財>「福島町史を読む」



福島町観光協会



福島町立青函トンネル記念館、伊能忠敬北海道測量開始記念公園もこちらから！
注：「青函トンネル記念館」でインターネット検索すると、青森県にある「青函トンネル記念館」のウェブサイトも表示されます。

岩部クルーズ

岩部海岸の魅力を伝えるウェブサイトです。料金やルートの確認、クルーズの予約ができます。
今年のクルーズ運行期間は、10月12日（月）まで。
お問い合わせ 0139-46-7822

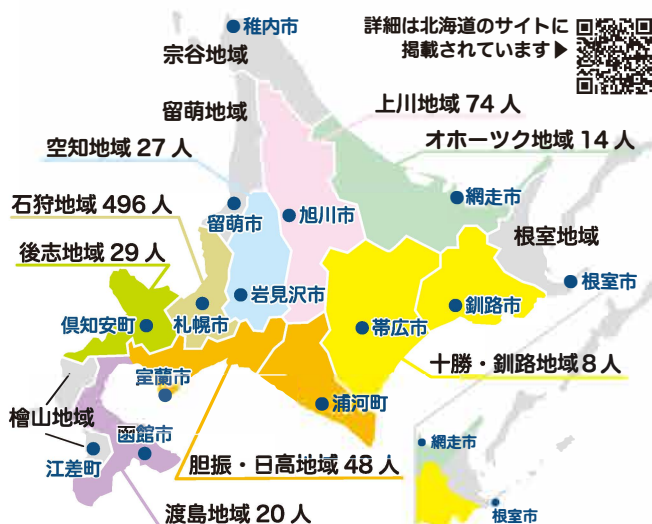


ちょこっとコラム されど「紙」のこと

昨年、せんだいメディアテークの方々とインタビューシート（避難のこと）を作成する中で、メディアテークではインタビューシートの用紙に、日本製紙石巻工場が被災からの復旧に合わせて開発した「モンテルキア」という紙を使っていることを知りました。津波による甚大な被害を受けた工場が、半年で操業を再開したことは有名ですが、こうした「紙」の存在は、出版・印刷業界の人でなければ、なかなか知り得ない話。本を手にする人のことを考えた手ざわりの良さ、白の柔らかさ、ほどよい厚み。出版物が減少する時代の中で、開発者たちの思いが込められているような気がしました。今年度、からから便りも「モンテルキア」に印刷してお届けします。

令和8（2026）年5月1日現在

東日本大震災による北海道の避難者数 716人



がらがらトビックス！

今年度から第3期復興創生期間

国は、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度の5年間を、第3期復興創生期間と位置づけ、主に原子力災害被災地域である福島県へ支援事業に重点を置く方針です。地震・津波被災地域では、インフラなどハード面の整備に目処がついたことから、復興庁の出先機関として設置されていた宮城、岩手の復興局を、今年3月末で廃止し、機能を東京の本庁に統合しました。2011年に設置された「復興庁」は令和12年度末（令和13年3月末）が設置期限。今秋の発足を目指して準備が進む「防災庁」とは「役割が異なる」として、統合しない方針です。

原発事故損害賠償・北海道訴訟 結審

原発事故により北海道へ避難した方々やその家族などが国と東京電力を訴え、2013年6月21日に提訴した「原発事故損害賠償・北海道訴訟」。2020年3月10日の第一審判決で札幌地方裁判所は、国と東京電力の責任を認める判決を出しましたが、原告・被告とも控訴。そして、2021年12月4日に札幌高等裁判所ではじまった控訴審は、18回目の期日を迎えた今年3月23日に結審しました。控訴審の判決は、2026年9月18日（金）、札幌高等裁判所で言い渡されます。

3つめの国営・追悼祈念施設 開園

岩手県「高田松原津波復興祈念公園」（陸前高田市）、宮城県「石巻南浜津波復興祈念公園」（石巻市）の開園から5年。これまで整備・建設中だった「福島県復興祈念公園」（双葉町・浪江町）が今年5月に開園しました。

「福島県復興祈念公園」ウェブサイト▶



東日本大震災の影響により
道内に暮らしている方の

相談窓口

平日 10:00～17:00

TEL **011・200・0973**

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

FAX 011・200・0974

✉ info@hnposc.net

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園 201

相談窓口への
問い合わせフォームは
こちらから！

